

理事会報告書

1. 概要

	第5回 理事会
日 時	令和7年 10月10日 18:30～21:00
場 所	Web 会議
出席者	<u>理事</u> 井手伸二、山下潤一郎、小無田彰仁、浦川純二、重松康志、小柳 傑、志岐浩二、 池田章子、笹原順哉、森健次郎、坂井孝行、小田慎也 <u>監事</u> 平野英三、柿田謙三、大木田治夫 <u>書記</u> 大月雅之、狩浦圭介 <u>その他</u> 高木治雄、山下 均

2. 理事会議題と決定事項

(1) 審議事項

- 1) 令和7年度 臨床教育研修会開催について
臨床実習指導者の養成は進んだが、今後は質の向上を図る必要がある。来年以降、臨床教育に関するカリキュラムの充実のため、臨床教育研究会の理事の都留先生をお招きし、臨床教育研修会を来年3月上旬に開催予定。審議の結果、提案通り可決された。
- 2) 土会承認症例検討会について
長崎記念病院より土会承認症例検討会の申請が1件あり。呼吸器リハビリの症例で、内容は問題なし。
- 3) 第2回スポーツ支援班研修会について
期日は令和8年2月28日、講師は東京保健医療専門職大学の鳥居先生、テーマは「パラスポーツ選手から学ぶ障がい者のライフステージ」。対面のみで3時間を予定。会員3,000円、県外会員5,000円、会員外20,000円の参加費で定員は50名を予定。審議の結果、提案通り可決された。
- 4) 産業保健リハビリテーションについて
職域での健康管理、復職支援、腰痛など理学療法士の関わる可能性は広がっているが、医師会との関係や制度上の整理が不十分な状況。今後県土会で取り組むにあたり、進め方を検討。今年度は方向づけの確認や、啓発のための研修会を行い、研修会やアンケートを通して興味がある人をピックアップしていくことも考える。9月に開催した理学療法研修会のテーマが産業リハについてであり、参加者への情報共有も検討。審議の結果、提案通り可決された。
- 5) 新入会承認について
総会員数2,292名、在会会員1,934名、休会会員358名で会員施設が426施設。県内異動11名、県外異動3名、退会1名、休会2名。審議の結果、提案通り可決された。

(2) 報告事項

- 1) 第36回長崎県理学療法学術大会準備進捗状況報告について
期日は7月5日日曜日の一日開催とする。7月4日に情報交換会を開催予定で、その前にポイントがつくようなイベントを検討中。情報交換会の会場は検討中。講師は順天堂大学の松田先生と北陸大学健康未来社会実装センターの大畑先生から内諾をいただいている。現在各部局でマニュアルを作成中。開催形式はハイブリッドを予定し予算を立てる。協議事項あれば随時報告する。
- 2) 令和7年度 後期研修（企画案）について
後期研修の領域別研修をC1の神経系で企画。午前中に「脳卒中の運動障害と評価」という内容で行い、同日午後開催の第3回学術研修会とのマッチングを予定。午後の内容に繋がるベーシックな内容となる。講師は長崎リハビリテーション病院の木須先生で、そのまま第3回学術研修会の座長もしていただく。後期研修の最後に学術研修会のアナウンスをする予定。ともにオンライン配信。
- 3) 第1回スポーツ理学療法推進研修会について
第1回スポーツ理学療法推進研修会を諫早で開催した。参加は28名。講師は日赤から3名来ていただき、実技講習していただいた。受講後、日赤のベーシックライフサポーター認定書が発行された。5年間有効。重要な内容であるため、今後も継続して企画し、認定者を増やす取り組みを検討。
- 4) 第20回小学生ソフトボール大会について
9月23日に開催。参加チーム数は15チームで小学生は235名、合計500名が参加。試合の間にストレッチ等実施。体が硬く、FFDはマイナスレンジの子が多かったが、指導後は改善認め、ストレッチの重要性を感じて頂けたと思う。啓発事業の一環として、参加者にはタオルを配布した。
- 5) ハラスメント研修に関する調査について
先日アンケートを実施し、結果報告。回答率は5%だったが、回答者コメントは今後の参考になった。コミュニケーションの問題が多いとの結果だった。これを受けて、長大病院の長浦先生に講師を依頼予定。内諾は頂けている。今後詳細を詰める。
- 6) 令和7年度 第1回佐世保・県北地区研修会、事例検討会、懇親会について
佐世保・県北地区の研修会、事例検討会、懇親会を9月6日に開催した。研修会は43名、事例検討会は3本立てでそれぞれ50名程度の参加。懇親会は新人3名を含む29名が参加。
- 7) 令和7年度 大村・東彼地区第1回研修会について
パラスポーツを通じた社会参加支援というテーマで小森先生を講師に開催予定。車椅子バスケットボ

ールの選手にも来ていただけるということで、実技も含めて開催したい。謝金は手厚くすることを検討。

8) 令和7年度 下五島地区第1回研修会について

日時は令和8年の2月7日、対面研修で90分。会場は五島中央病院で講師は長崎リハビリテーション病院の本田先生をお招きする予定。定員は20名の予定。費用対効果を考え、島嶼部での研修会についてハイブリッドも含め今後検討。

9) 令和7年度 壱岐・対馬地区第1回研修会について

日時は11月30日、対面研修とサテライト方式。対馬交流センターにて、テーマは「避難所での支援について」。定員は20名、参加費無料でポイントはなし。2部構成で、前半は一般住民向けの長崎 J-RAT の研修、後半が本研修会。

10) 第1回長崎県理学療法士連盟研修会開催について

県士会の共済という形で連盟の研修会を開催。参社47名、県内43名。第2回は再来週に長崎大学の西先生が講師で開催予定、現在参加者20名。更に広報を行う。

その他報告事項

1) 生涯学習制度の見直しと変更点について

2025年の9月1日から変更。研修会を主催する各部局、地区に別途説明会を検討。変更点として、同一カリキュラムにおいて高いポイント数への上書きが可能になった。加算ではない。QRコードを2回読み込んでトラブルもあったが、1回読み込み後15分読み込みができなくなった。

2) 令和7年度 上半期事業報告について

上半期事業報告の案内を各部長、委員長へ案内予定。10月末を目途に締め切り、データや傾向等取りまとめて報告する。

3) 長崎県リハビリテーション専門職団体協議会の取り組みの報告について

大山会長が長崎県の包括的な地域医療を考える研究会に代表で参加している。その中で看護協会とシンポジウム共催の打診あり。地域の連携などについて、看護協会と専門職団体協議会でやることになった。開催は3月7日、テーマは「食、移動、暮らしを多職種で支援する」。PT、OT、STと看護協会とシンポジウムを組む企画。講演は日看協の秋山会長。現在予算等々検討中。

4) PCの更新について

12月にPCのリースが切れる。一部不具合もあり、現在8台入れ替えを検討。ヤマダ電機と(株)イシマルから相見積もりを取り、ヤマダ電機は1台13万5千円、イシマルはセットアップとメンテナンス含め18万5千円。Windows11にマイクロソフトアカウントが必須となり、セットアップの仕様が変化する可能性あり。PCごとのアカウントに必要となるアドレスをはじめから設定することも含め検討。志岐理事、浦川理事に協力いただく形。

5) 交際費について

天皇、皇后両陛下、愛子様来崎にあたり会員が活動した費用について、交際費からの支出も検討。